

# 広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ

## Hosokawa × Beethoven

# 8

「被爆75年」「ベートーヴェン生誕250年」が交差した2020年。

広島にとってかけがえのない二人の作曲家の出会いを下野・広響がプロデュースする

〈Hosokawa × Beethoven〉シーズンⅡ

**2021.7.22 [木・祝] 15:00開演 (14:00開場) JMSアステールプラザ大ホール**

Thu Jul 22, 2021 Start 15:00 (Open 14:00) JMS ASTER PLAZA

本公演は中止となった昨年12月17日の延期公演です。

### program

ベートーヴェン: 劇音楽「アテネの廃墟」作品113 序曲

Beethoven: Die Ruinen von Athen, Op.113 Overture

細川俊夫: ホルン協奏曲 一開花の時一

Toshio Hosokawa: Horn Concerto —Moment of Blossoming—

ベートーヴェン: 交響曲第8番へ長調作品93

Beethoven: Symphony No.8 in F major Op.93

コンサートマスター: 佐久間 聡一 Concertmaster: Soichi Sakuma



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

“祈り”

■ チケット料金 / S席:5,300円 A席:4,300円 B席:3,300円 (学生:1,000円) ※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット発売日 / 会員先行販売 5月17日(月) (9:00～ 広響事務局のみ)、一般販売 5月24日(月)

■ チケット取扱い / JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、ローソンチケット(Lコード:62381)、チケットぴあ(Pコード:196-707)、広響事務局

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催 / 公益財団法人広島市文化財団

協賛 / 中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援 / 広島市、広島市教育委員会

指揮: 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

©Naoya Yamaguchi

ホルン: 福川 伸陽

Horn: Nobuaki Fukukawa

助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ / 広響事務局 TEL: 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

新型コロナウイルス感染防止対策  
について皆様へのご協力のお願い





# 広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

## ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven

# 8

指揮：下野 竜也 *Conductor : Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール＜指揮＞優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ボルドー・アテキヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブール管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。

これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者(2014年4月～2017年3月)、同団常任首席客演指揮者(2017年4月～2020年3月)を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。

2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

NHK FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ホルン：福川 伸陽 *Horn : Nobuaki Fukukawa*

「福川伸陽のホルンの響きが聴こえてくると、世界が一瞬にして変化するような気がする。ここではない世界のどこからか、不意に風が吹きわたってくるかのように。」(毎日新聞)

NHK交響楽団首席奏者。第77回日本音楽コンクール ホルン部門第1位受賞。ソリストとして、パドヴァ・ヴェネツィア管弦楽団、ベトナム交響楽団、京都市交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、横浜シンフォニエッタ、兵庫芸術文化センター管弦楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団他と共演。国内外の重要な指揮者、演奏家の信頼も篤く、パーヴォ・ヤルヴィやファビオ・ルイーゼをはじめ、故ジェロラフ・ヴェクなどの絶賛や、ライナー・キュッヒル、ハインツ・ホリガーとの共演も記憶に新しい。日本各地やアメリカ・ヨーロッパなどに数多く招かれており「la Biennale di Venezia」「ラ・フォル・ジュルネ」「東京・春・音楽祭」などの音楽祭にもソリストとして多数出演。キングレコードより3枚のソロCD、リヒルト・シュトラウスの協奏曲第2番のライブレコーディングや、オクタヴィアレコードより多数の室内楽CDをリリースし、音楽之友社刊「レコード芸術」誌上にて特選版に選ばれている。国際ホルン協会評議員、東京音楽大学准教授。



下野竜也と広島交響楽団による「ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ」2シーズン目。各回ベートーヴェンの交響曲を番号順に一曲ずつ、それに地元広島市出身の細川俊夫の作品を組み合わせる。会場は、1200席のJMSアステールプラザ大ホール。ベートーヴェンのみならず、細川作品もじつに親密さをまとう響く。現代作品であることをさほど意識させることなく、音楽そのものに耳を傾けることができる素晴らしい機会だ。今シリーズは福川伸陽などソリストも豪華。洗練と躍動する下野のスタイルが、広響ならではのソフトな響きと相まって、自然な呼吸感が宿ったベートーヴェンを生み出す。このオーケストラでは、当シリーズで初めてブライトコプフ新版を使用したこともあり、慣れているはずの作品にも新鮮な気持ちで取り組んでいることは、これまでの演奏からもよく伝わってくる。6月公演では、習作であり、滅多に演奏されないピアノ協奏曲第0番を小菅優と協演するのも大きな話題だ。

(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 鈴木 淳史)

## 広響の新型コロナウイルスへの対応について

会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。



会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。



手洗い、消毒の励行にご協力ください。



会場内での不要な会話は控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。